

◆日本共産党は、反戦平和・国民が主人公つらぬいて101年。戦争させない、暮らしに希望を

休日当番病・医院

12月3日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 ケーアンドエークリニック 日新町 71-2000
- ◆歯科 大町歯科加藤医院 大町 32-2209

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。



法律相談



12月21日(木)
笹森 学 弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党小牧地区委員会
小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

うんぶん赤旗読者のための

日本共産党

民主苦小牧

発行 日本共産党小牧地区委員会

小牧市見山町2丁目2番6号 電話56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
小牧市議会ホームページ <http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

後期高齢者医療議会

共産党が現行の保険証存続求める

保険料を抑制して高齢者の生活守れ

北海道後期高齢者医療広域連合議会の定例会が11月20日、札幌市で開かれ、2022年度の一般会計と後期高齢者医療会計についての決算が審議されました。

日本共産党の杉野智美議員(帯広市議)は、保険料の減免や窓口負担2割化にともなう激変緩和措置の現状について、高齢者の生活を守るために、「保険料の引き上げは認められない」と迫りました。

広域連合は、「過度の負担にならないように国に求めたい」とのべつとも、2割化について「定められた制度を円滑に行う」「社会保障制度を取り巻く状況は厳しい」との見解を繰り返しました。

杉野議員は、「高齢者が安心して医療機関にかかることができるように、広域連合が役割を発揮すべきです」と強く求めました。

日本共産党の熊木恵子議員(南幌町議)は、マイナ保険証の利用率が減少していることや、厚労省のインターネット調査で利用者・医療機関ともにメリットを感じていない現状が明らかになっていると指摘しました。

広域連合は、利用率が上がらない要因として、個人情報保護の取り扱いへの不安感やメリットが知られていないことをあげ、「国の責務で周知するように求めていく」と答え、「メリット」を強調しました。

熊木議員は、札幌市などでも現行の保険証の存続を求める意見書が採択されていると紹介し、保険証の存続を広域連合としても求めるよう訴えました。

決算認定について、熊木議員は北海道の保険料率は都道府県のなかで均等割は11番目、所得割は2番目の高さになっており、低所得者が多い北海道の高齢者には重たい負担になっていることや、マイナ保険証を積極的に推進していることを指摘し、反対しました。

富岡委員は、「受診抑制になっており、毎年滞納者が増えている。しかも滞納者の9割近くが低所得者だ。軽減措置がなくなっているなかで、高齢者は増えて行く。払いたくても払えない人も増えていく」と対策を迫りました。

低所得者に冷たく撤廃しかない

富岡市議

後期高齢者医療決算で迫る

小牧市議会の2022年度企業会計決算審査特別委員会(10月)で、後期高齢者医療にかかわり、日本共産党の富岡隆議員は、高齢者の軽減措置の廃止や2割負担化の影響について述べました。

富岡委員は、「21年度に後期高齢者の低所得者層への軽減特例措置がすべて撤廃された。もともと払いたくても払えないから、軽減策がとられてきた。高齢者の実態を見ても、高物価、燃油高騰でますます大変になっている」とし、市の認識をただしました。

担当者は、「国の制度変更で、負担が増える方々が一定数いることは認識している。団塊の世代が後期高齢者に加わり医療負担の増加が予想されており、労働人口の減少が見込まれ、一定の所得のある人に負担を増やし、今回の見直しになった背景がある」と答えました。

市によると、2割負担の影響は、厚労省の資料で、受診回数1カ月で0.1回の減少となっており、小牧市の滞納者の実態は238人で、100万円未満が187人、200万円未満が26人などとなっていると明らかにしました。

富岡委員は、「小野寺幸恵団長をはじめ、原啓司、森本健太両市議が一般質問に登壇する予定です。」

ほんの紹介

◆日本共産党の百年 日本共産党中央委員会著(新日本出版社) 1760円(税込) 戦前・戦後の歴史、世界史の流れのなかで果たした役割、日本の今と未来をみつめています。6刷・大好評発売中。



マイナカード強制になる健康保険証の廃止強行抗議 日本共産党

半導体製造 軍事利用目的か

真下道議

ラピダス誘致で知事を追及



北海道議会決算特別委員会で日本共産党の真下紀子議員は15日、千歳市の「ラピダス社」誘致をめぐる道庁の対応の問題点について鈴木知事をたどしました。

うえで不可欠だ」と指摘。「知事は、道の公文書管理規則にのっとった対応とは言えないと判断したのか」と追及。鈴木知事は、「今後の記録については、道の規則等に基づき適切に対応するように指示をした」と道の対応に瑕疵（か）し「があつたことを事実上認め、「文書の適切な作成についてあらためて職員に周知する」と答弁しました。

真下委員は、ラピダス社の東哲郎会長が行った講演で、「重要な部分は国防の領域である」「そういう半導体をわれわれはまずアメリカの客に届けなければならぬ」との発言を紹介。「道内半導体企業にも軍事防衛に転用される

る半導体製造に負担させることになる可能性を知事は認識していたのか」と迫りました。

鈴木知事は、「半導体はあらゆる電子機器に必要とされる基幹部品」とはぐかします。真下委員は、「ラピダスが製造する半導体が軍事産業への提供があり得ると一度でも説明したのか」と追及。鈴木知事は、答えませんでした。

真下委員は、「知事はゼロカーボンに資すると言つて税金を投入したが、軍需産業への供給となればこれまでの説明がまったく成り立たない」と批判。「道民への説明も果たさず、米国の軍事産業への納品につながりかねない事態を黙認するのか」とたどしました。

鈴木知事は、「人々の豊かな暮らしや産業の発展に寄与することを期待する」との答弁に終始しました。

環境や有害物質の排出に不安 原市議 ラピダス進出で住民説明会求める

千歳市で工場建設が始まった次世代半導体企業「ラピダス」



ス」社の進出について、総額5兆円という国家プロジェクトと歓迎されている一方、製造過程では環境への負荷も大きい事業ともいわれ、漠然とした不安をもつ市民の声が寄せられています。

9月の市議会一般質問で、日本共産党の原啓司議員は、環境への配慮は、しっかり時

完売しました!

いわさきちひろ

2024年版カレンダー
大判 1540円(税込)

カサ・ウクライナの子ともたちと平和を

わかさ書店
Tel 56-5002

間をとって慎重に進めるべきであると指摘しました。

半導体の製造過程で使用するPFAS(有機フッ素化合物)は人体に蓄積されると発がん性があると指摘されています。市は、製造過程で含まれたときでも全量回収し、排水前の検査の徹底で排出されないように配慮されると聞いているが、排水に含まれる物質の詳細については把握していないと答えています。

本格稼働時には大量の工業用水が必要となり、取水先に安平川が選定されたが、詳細が明らかになっていません。自然環境への影響、調査の必要性などの検討が課題となっています。

原議員は、市の責任で会社側からの説明を求め、市民への情報を提供する場、市民の声、意見が言える場の設定を要望しました。

酪農の未来を語り合う 集いに参加して



酪農の未来を語り合う 集いに参加して

晴れるにつれて放射冷却で冷え込みが厳しい根釧地域で、標茶町の「酪農の未来を語り合う集い」に参加しました。マイベース酪農にとりくむ40代、50代のみなさんも参加され、酪農の状況とこれからへの思いを語ってくれました。

40〜50頭の牛を飼つて乳を搾り、土づくりを重視し牧草で育てる、マイベース酪農は牛にも人にも環境にも優しい牛の飼ひ方です。最近、「日韓国際環境賞」を受賞したことは喜びです。

翌日の朝、矢白別演習場の中にある「平和の家美術館」に伺い、10月に80歳で永眠された彫刻家の二部黎(にべ・れい)さんの弔問をしました。この日もひっそりなしに実弾訓練の「ドーン」「ドーン」という砲弾の音が響いています。

ともに歩んだ妻の倉谷あみさんから、在りし日の姿をお聞きしました。「基地はいらない!」と、平和への祈りを作品に込められていたのだと思います。敷地内のいたるところにミニチュメントが置かれています。ベトナム戦争で心を病み、矢白別で多くのひととの交流を深めたアレン・ネルソンさんの人物像、「平和の馬に乗る人」の像もありました。矢白別を平和な土地に、心から哀悼を捧げます。



島山さんも参加した酪農の集い(25日)

紙智子(かみ・ともこ) 日本共産党参議院議員

業者つぶすインボイス実施に断固抗議し、制度廃止への共同を呼びかけます。